

# EGOTERIC

P·30

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

D00076900A

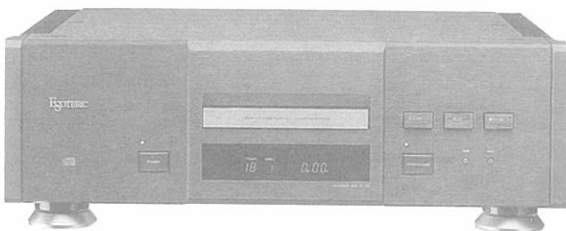
**TEAC**

このたびは、エソテリック製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受けて製造されております。

エソテリックシリーズの最高峰モデルとして生み出された P-30 です。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



## 目次

特長	3
ご使用の前に	
● 設置のご注意 ● 使用上のご注意	4
● 防振装置について	5
● コンパクトディスクの取り扱い	5
各部の名称	
● 本体前面	6
● 本体背面	7
● リモート・コントロール・ユニット	8~9
接続	
● マルチD/Aコンバーター(D-3)との接続	10
● ステレオ・アンプとの接続	11
● 電源の接続	11
演奏	
● 基本操作	12
● ディスク・テーブルを開いたままでも	13
● ダイレクト選曲 ● 演奏の中止	13
プログラム演奏	
● プログラムのセット	14
● プログラム内容のチェック	14
● プログラムの修正	15
● デリート・プログラム演奏	15
リピート演奏	
● 1曲リピート演奏 ● 全曲リピート演奏	16
● A-Bリピート演奏	17
● プログラム・リピート演奏	17
便利な機能とその使い方	
● ミュージック・スキップ	18
● インデックス・サーチ	19
● ダイレクト・インデックス・サーチ	19
● サーチ(早送り/早戻し)	19
● シングル・モード ● オート・スペース	20
● ディスプレイ	20
● タイム・カウンター	20
タイマー演奏	21
おや!? 故障かな?	22
ブロック・ダイアグラム	23
解説	24
アフターサービスについて	25
仕様	26
寸法図	27

## 特長

### P-30 CDドライブ・ユニット

#### ■VRDSメカニズム

##### (アルミダイカスト・ターンテーブル採用)

ディスクと同径のターンテーブルにディスクを確実にクランプさせることにより、ディスク自身の持つ固有振動やメカニズム系の不要振動を徹底排除しています。

またディスク圧着面にゆるやかな傾斜を与えることにより、ディスクのソリや歪を矯正しています。さらに光学ピックアップとディスク・ピット面の相対光軸精度が向上するため、不要サーボ電流が削減されます。

以上のことは、ディスク読取エラーを減少し、かつクロック回路へのタイミングエラー発生を防止する効果を発揮します。

#### ■DSRLL(デジタル・サーボ・レシオ・ロックド・ループ)可聴ジッター・フィルター

CDのフォーマットである44.1kHz、16ビット、PCMデータを48kHz、24ビットPCMデータにリ・サンプリング処理をしています。

リ・サンプリング処理の過程にDSRLL回路を採用することにより、効果的なジッター・フィルターとして動作します。

44.1kHz系に混入するメカニカル・ジッターを300Hz以上の可聴帯域で-40dB(100分の1)に抑圧します。

300Hz以下の抑圧特性は1次傾斜のフィルター曲線になっており3Hzから効果を発揮します。

#### ■メカニズム制御系とDSRLL制御系の電源部を完全分離

- ⑤メカニカル・ジッターの電源部からの混入を防止するため、DSRLL制御系を電源トランスの一次側から完全独立しています。さらに電源トランスは、リアパネル後方に配置し、メカニカル制御系へのフラックスの影響を防止しています。

#### ■高精度デジタル出力3系統(RCA、XLR、ST光)

DSRLL回路でリ・サンプリングした48kHz、24ビット、PCMデータを周波数精度50PPM以内の高精度モードで出力しています。

外部に接続するDAコンバーターの性能を最大限引き出すため、LAN用アイソレーション・トランスを採用(RCA、XLR)、波形をなまらせることなく出力しています。またST光出力には、将来を予測すべくデータ・スクランブラー機能を追加しています。

#### ■3点支持ピンポイント・フット

真鍮ブロックにステンレスのピンを圧入したハイブリッド構造のオリジナル・ピンポイント・フットを前方2点、後方1点の3点支持とし、メカニカルアースをとっています。

またピンポイント・ベースには、アルミ削り出し材を使用し、適切な損失を持たせています。

このことにより、振動する支点と動点が明確になり、あいまいな共振を防止しています。

#### ■銅メッキ鋼板のインナーシャーシとアルミ押し出し材の二重構造

メカニズムを支持する筐体を境界に3ボックス構造を築き、サーボ系、メカ系、DSRLL系の分離をし、各ステージを電氣的にシールドを施すため銅メッキ鋼板をダイヤモンド構造で組み込み、4方面をアルミ押し出し材でダンピング、固有振動を押え込んでいます。

#### ■厳選高品位パーツ群

- AD社 AD1890 非同期式サンプルレート・コンバーター
- CS社 CS8402A デジタル・オーディオ・インタフェース・トランスミッター
- AT&T社 ODL50II ST光トランスミッター
- WBT社 WBT-0251 RCAコアキシャル・ソケット
- TOKO社 Q10RTS15 LAN用パルストランス
- TOKYO TRANS社 独立カットコアトランス
- DELTA社 06ME3 EMIフィルター
- G・I社 FE5D ウルトラ・ファースト・リカバリー・ダイオード

# ご使用の前に

## ■設置のご注意

### 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化したり、故障などの原因となりますので設置しないでください。

- 窓際など直射日光の当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所、または極端に低い場所。
- 湿度の高い場所。
- 風通しが悪い場所。
- ホコリの多い場所。
- 振動の多い場所や不安定な場所。
- チューナーやテレビのそば。

\*雑音や映像の乱れが生じることがあります。

## ■使用上のご注意

### 本体のお手入れには

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

\*化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布しないでください。表面を傷める原因となります。

### 電源について

国内電源AC100V、50-60Hzでお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できかねます。電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントからははずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

### ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れないでください。感電事故の恐れもあり危険です。

### 異物を落としたり

万一、花びんなどの水をこぼしたり、燃えやすいもの、ピンなどの金属物を落とすと、火災や感電、故障の原因となります。何か異物が入ったときは、すぐ電源プラグを抜いて販売店またはティアック・サービス窓口にご連絡ください。

### ディスク

ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

### ピックアップ

レンズに触れないようにしてください。レンズをきれいに保つために、ご使用にならないときは、ディスク・テーブルを閉めておいてください。

### スタビライザーは使用しない

市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。演奏できなくなったり、故障の原因となります。

### 結露現象について

冬期など、本機を戸外から暖房中の室内に持込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がつき、正しく演奏できないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に演奏できるようになります。

## 音のエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。

特に、夜間は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

## ■防振装置について

レーザー・ピックアップ部は、輸送時の振動から保護するため、防振装置で固定してあります。本機をご使用になる前は、必ず同装置を解除状態にしてください。

### 解除のしかた

本機の電源を入れる前に、図のように前面を持ち上げながら、付属の金具を差し込み、“FREE”側へ約30°軽くゆっくりと回します。

### 引越しなどで輸送するときは……

再度、防振装置で固定してください。電源を入れ、ディスク・トレイを一度開けてディスクが取り出していることを確かめてから、再びディスク・

① \* Lockするときはテーブルの OPEN/CLOSEは可能  
但しディスクを入れてPLAYしても TRACK 1 → 0 とは読まない

トレイを閉めます。電源を切り、前面を持ち上げながら、付属の金具で“LOCK”側へ約30°軽くゆっくりと回します。



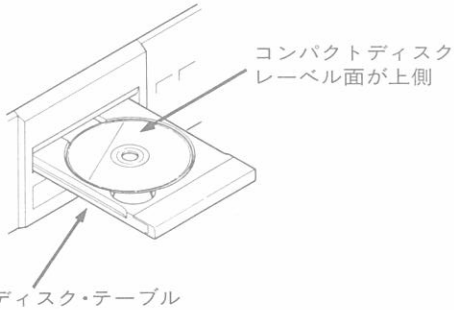
### 〔ご注意〕

防振装置はかるく少し回すだけで解除、または固定できます。力を入れて回すと、防振装置の破損につながりますのでご注意ください。

## コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク (CD方式) 専用のプレーヤーです。COMPACT DISC MARKのマークのあるコンパクトディスクをお使いください。

- ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。



- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

### 取り出し方

### コンパクトディスクの正しい持ち方



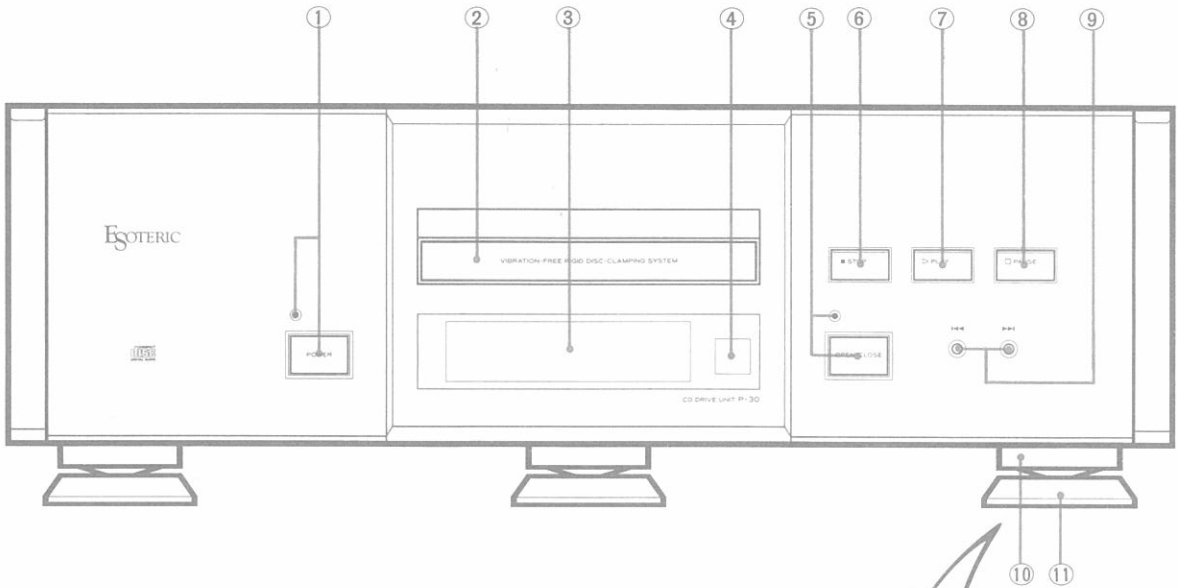
- 信号記録面に指紋やほりこりがついたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクの表面が侵されることがあります。
- ディスクは必ずケースに入れて保管してください。変形や、ひどいキズは音とびの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所にディスクを置かないでください。変形の原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

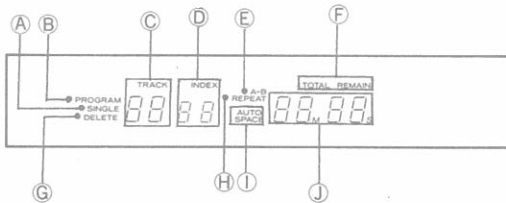
# 各部の名称

## ■本体前面

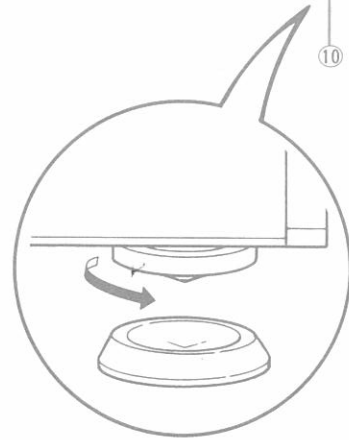


( )内の数字は、参照ページです。

- ①電源スイッチ〔POWER〕& パワー・インジケータ(12)
- ②ディスク・テーブル(12)
- ③表示窓

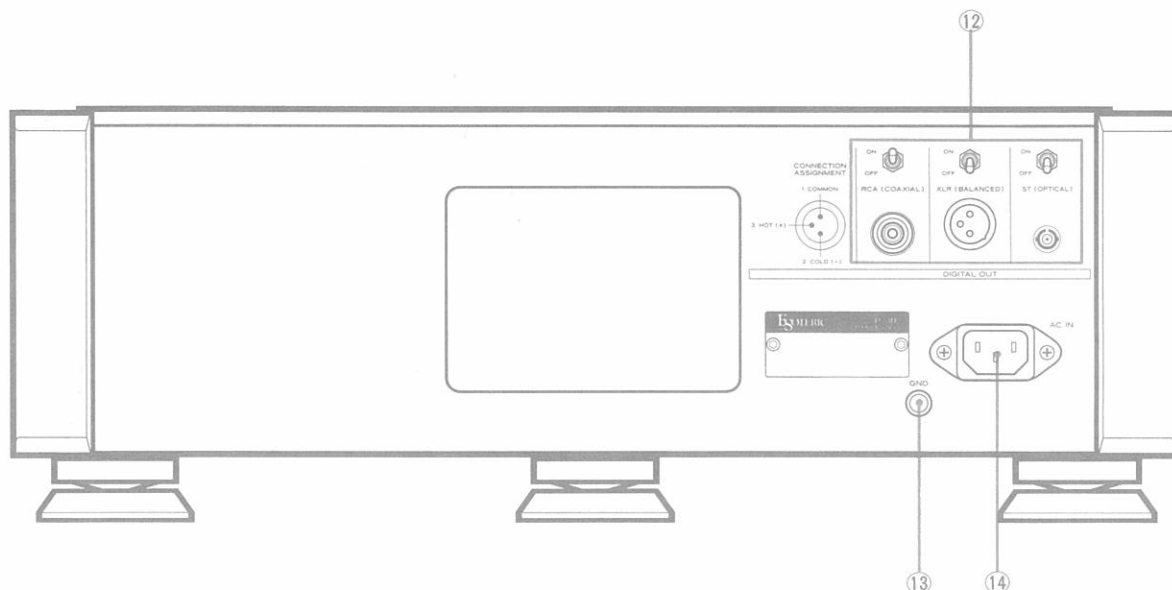


- Ⓐ〔SINGLE〕：シングル
- Ⓑ〔PROGRAM〕：プログラム
- Ⓒ〔TRACK〕：トラック・ナンバー
- Ⓓ〔INDEX〕：インデックス・ナンバー
- Ⓔ〔A-B〕：リピート A-B
- Ⓕ〔REMAIN〕／〔TOTAL REMAIN〕：リメイン／トータル・リメイン
- Ⓖ〔DELETE〕：デリート
- Ⓗ〔REPEAT〕：リピート
- Ⓙ〔AUTO SPACE〕：オート・スペース
- ⓫タイム・カウンター



- ④リモコン受光部(9)
- ⑤オープン／クローズ・キー〔OPEN／CLOSE〕& ディスク・インジケータ(12)
- ⑥ストップ・キー〔■STOP〕(13)
- ⑦プレイ・キー〔▶PLAY〕(12)、(13)
- ⑧ポーズ・キー〔□PAUSE〕(13)
- ⑨ミュージック・スキップ・キー〔◀◀／▶▶〕(18)
- ⑩フット(付属)  
\*本体にフットを取付けてください。
- ⑪フット・ベース(付属)

## ■本体背面



- ⑫デジタル出力端子〔DIGITAL OUT〕&  
デジタル出力切換えスイッチ(10)、(11)
- RCA(COAXIAL) : RCA同軸コードで接続。
  - XLR(BALANCED) : XLRタイプのコネクター付きケーブルで接続。
  - ST(OPTICAL) : 光ファイバー・コードで接続。
- ⑬アース端子〔GND〕
- ⑭電源入力〔AC IN〕(11)

### ご注意

\* デジタル出力切換えスイッチについて  
切換えスイッチは、お使いになる出力端子のみ ON(他の2個はOFF)にしてください。複数のスイッチを ON にすると、どの端子からも出力しません。

④ スイッチがすべて OFF の状態で、データ・スクランブラー機能が作動し、ST(OPTICAL)端子から出力します。

## P-30, X-10W, X-10WDのディスプレイ表示について

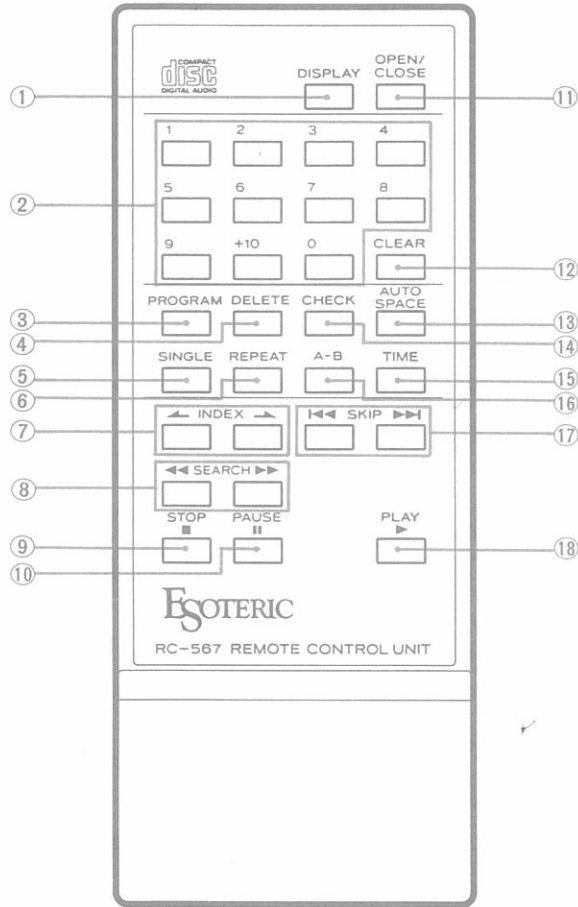
リモコンのDISPLAY キーを押してOFF(無表示状態)にした時

- ① リモコンまたは本体のどの操作キーを押しても、4秒間ディスプレイ表示し、その後消灯します。
- ② DISCをトレイにセットしてCLOSEキーを押すと、4秒間ディスプレイ表示し、その後消灯します。

TOC情報は読み込んでいますが、時間が短いいためTOC表示しません。

この状態でリモコンのDISPLAYキーを押すと、ディスプレイにはTOC情報が表示されます。

## ■リモート・コントロール・ユニット(リモコン)RC-567



( )内の数字は、参照ページです。

①ディスプレイ・キー〔DISPLAY〕(20)

②ダイレクト選曲キー(13)、(14)

③プログラム・キー〔PROGRAM〕(14)、(15)

④デリート・キー〔DELETE〕(15)

⑤シングル・キー〔SINGLE〕(16)、(20)

⑥リピート・キー〔REPEAT〕(16)、(17)

⑦インデックス・キー〔◀INDEX▶〕(19)

⑧サーチ・キー〔◀◀SEARCH▶▶〕(19)

⑨ストップ・キー〔■STOP〕(13)

⑩ポーズ・キー〔■PAUSE〕(13)

⑪オープン/クローズ・キー〔OPEN/CLOSE〕(12)

⑫クリアー・キー〔CLEAR〕(15)

⑬オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕(20)

⑭チェック・キー〔CHECK〕(15)

⑮タイム・キー〔TIME〕(20)

⑯リピート A-B・キー〔A-B〕(17)

⑰ミュージック・スキップ・キー〔◀◀SKIP▶▶〕(18)

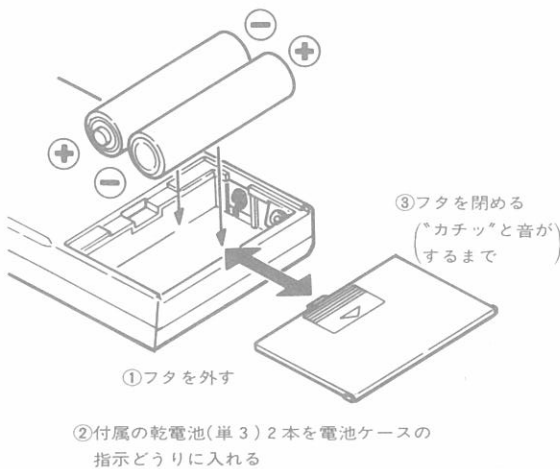
⑱プレイ・キー〔▶PLAY〕(12)、(13)



付属のリモコンは、本機を操作する(電源のON/OFFを除く)すべての“キー”を備えています。離れた所から操作をすることができます。

## ■電池について

### リモコンへの装着



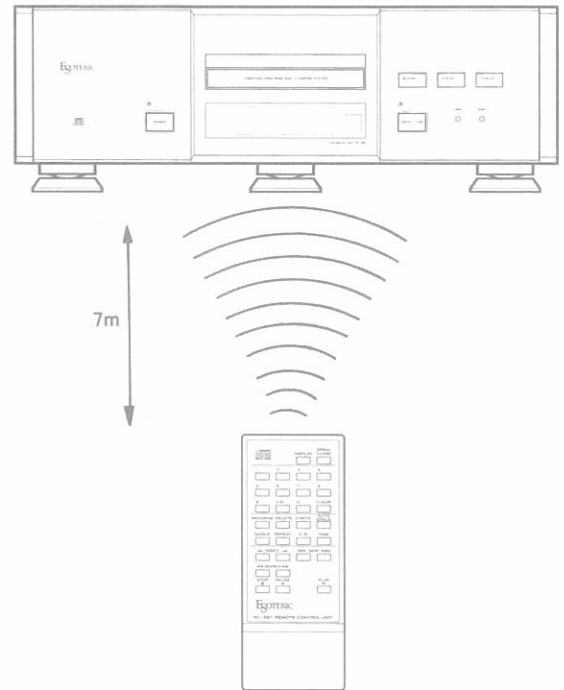
### 電池の交換時期は……

リモコン操作の範囲が狭くなったり、操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

### 電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は充電できません。



## ■使用上のご注意

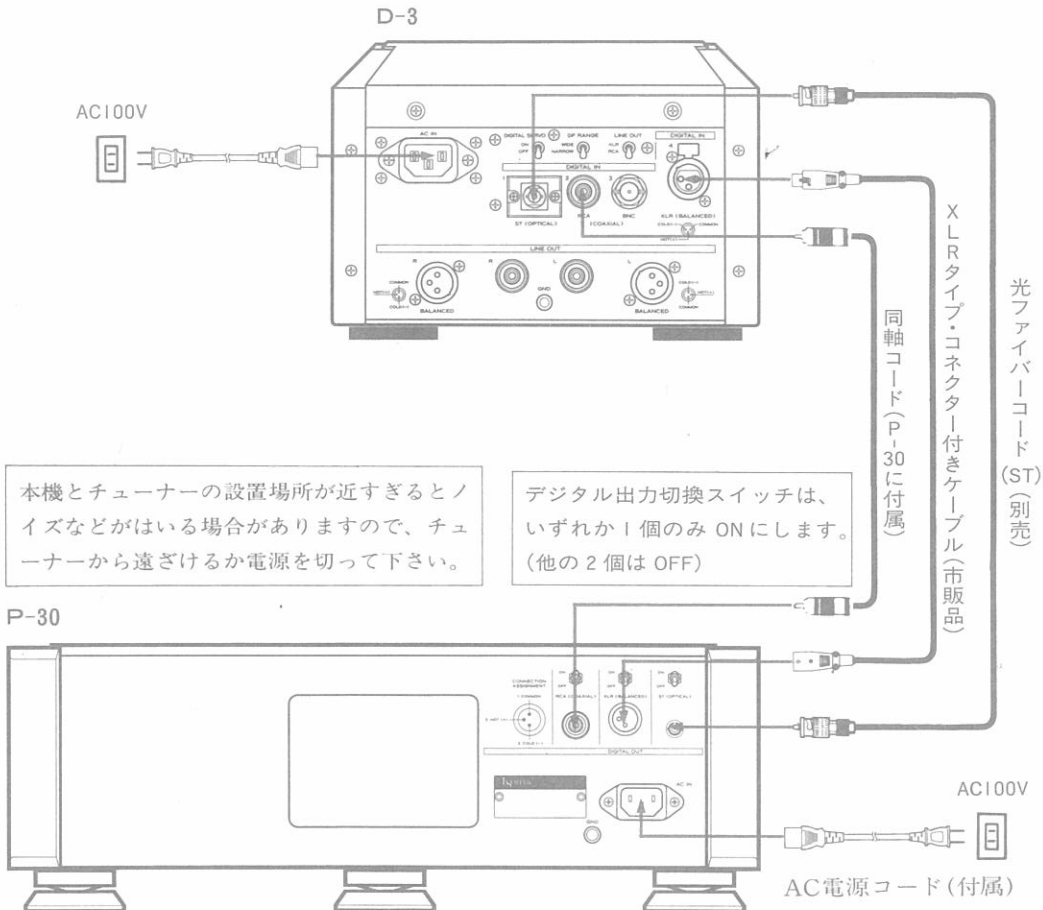
- 障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くでCDプレーヤーを使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、CDプレーヤーは誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。

# 接続

## ■マルチD/Aコンバーター(D-3)との接続

- 取扱説明書をよくお読みの上、必ず機器の電源を切ってから接続してください。
- 付属の同軸コードを使用する場合は、P-30 [DIGITAL OUT] 端子の RCA(COAXIAL) とマルチD/Aコンバーターの [DIGITAL IN] 端子RCA (COAXIAL)を接続します。
- P-30のXLR(BALANCED)端子は、マルチD/Aコンバーターの [DIGITAL IN] 端子 XLR(BALANCED) 端子に市販のケーブルで接続します。
- 光ファイバー・コード(別売)を使用する場合は、P-30 [DIGITAL OUT] 端子の ST(OPTICAL) とマルチD/Aコンバーターの [DIGITAL IN] 端子 ST(OPTICAL)を接続します。

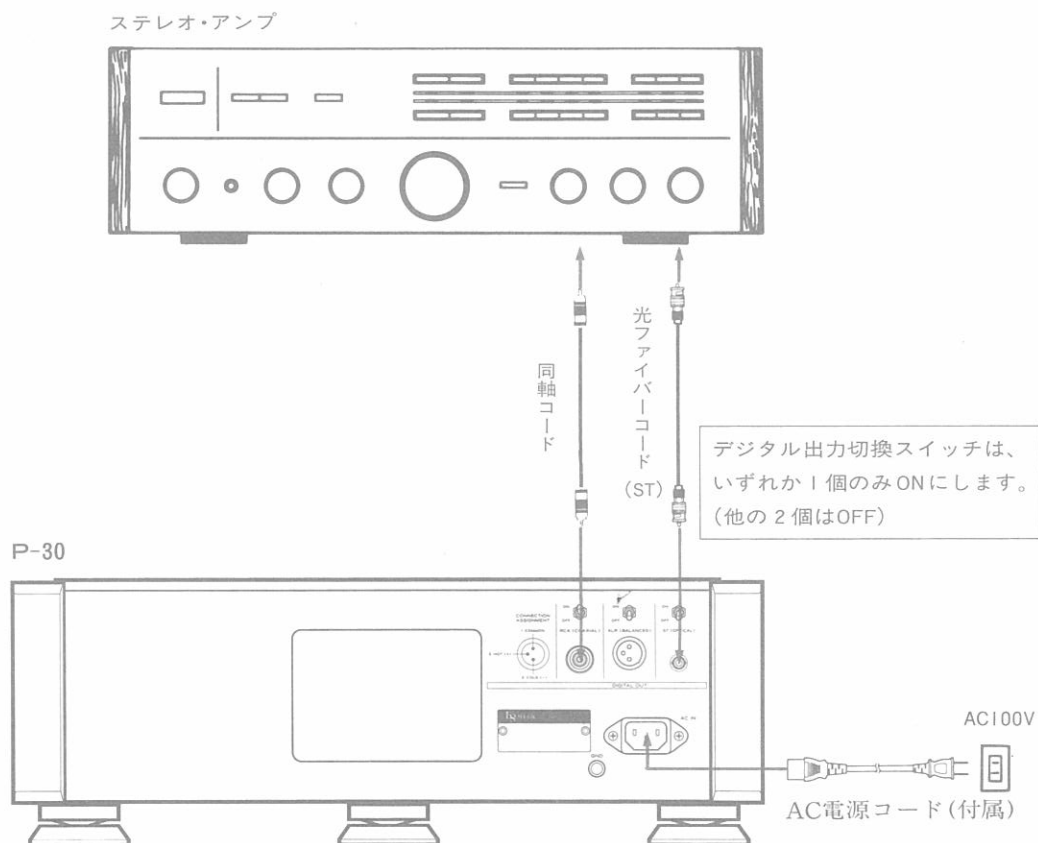
- \* 米国 AT & T 社製の ST 規格光ファイバー・コード (EST-100/1m) を別売しています。接続する際は、ST端子の“キャップ”をはずしてください。また、接続しないときは、“キャップ”を付けておいてください。
- デジタル出力 [DIGITAL OUT] 切換えスイッチは、いずれか 1 個のみ [ON] にしてください。複数のスイッチを [ON] にすると、どの端子からも出力しません。通常使用する出力端子を [ON] にしてください。



## ■ステレオ・アンプとの接続

- 取扱説明書をよくお読みの上、必ず機器の電源を切ってから接続してください。

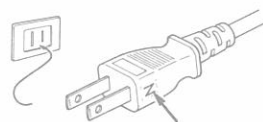
- [DIGITAL OUT] 端子と D/A コンバーター内蔵ステレオ・アンプのデジタル入力 [DIGITAL INPUT] 端子を同軸コード(付属)、または光ファイバーコード(別売)で接続します。



## ■電源の接続

- 必ず AC(交流)100V の電源コンセントに接続してください。
- 本機の電源は極性管理がされています。極性管理されている電源コンセントでは、溝の短い方がホット側、長い方がアース側です。
- 電源プラグの側面に“N”印のあるほうがアース側になっていますので、極性を合わせて接続してください。

- \*極性を合わせていない場合でも、音質にほとんど影響はありませんが、微妙に音質が変わることがあります。極性の管理されていない電源コンセントをお使いになる場合は、プラグの差し込み方を逆にして音を確認してください。



# 演奏

## ■基本操作

1. 本体の〔POWER〕スイッチを押す。  
(リモコン操作はできません)



電源が入ると、インジケータが点灯します。

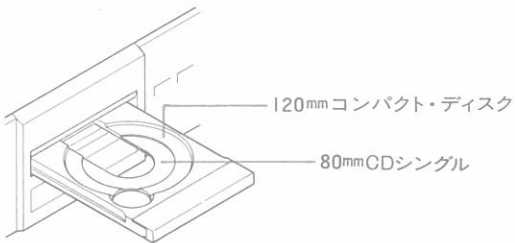
2. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。  
ディスク・テーブルが手前に出ます。



インジケータが点滅します。

- 表示窓に“OPEN”が表示されます。
- 電源が入っていない時は、ディスク・テーブルの開閉はできません。

3. ディスクは、レーベル面を上にして中央のガイドにのせます。



4. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。

- インジケータが点滅し、ディスク・テーブルが閉じます。表示窓に“CLOS”が表示されます。
- ディスク・テーブルが閉じるとインジケータが点灯し、表示窓に曲数および総演奏時間が表示されます。



5. 〔PLAY〕キーを押す。

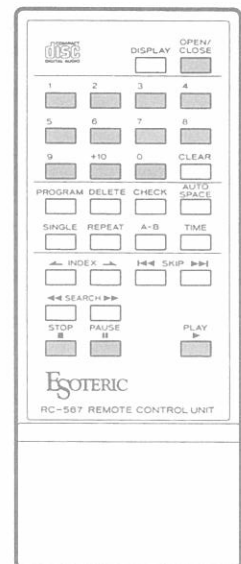
〔PLAY〕ボタンが点灯し、ディスクの1曲目から演奏を始めます。



6. ステレオ・アンプの音量を調節する。
7. 演奏を一時停止する場合は、〔PAUSE〕キーを押す。〔PAUSE〕ボタンが点灯し、一時停止します。〔PLAY〕キーまたは〔PAUSE〕キーを押すと演奏を始めます。



8. 演奏を止める場合は、〔STOP〕キーを押す。



## ■ディスク・テーブルを 開いたままでも——

[PLAY] キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、最初の曲から演奏を始めます。

ダイレクト選曲キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、ダイレクト選曲キーで指定された曲から演奏を始めます。

[PAUSE] キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、最初の曲で一時停止になります。

## ■ダイレクト選曲

希望する曲の番号を“ダイレクト選曲キー”で押すと、[PLAY] キーを押すことなく指定した曲の演奏が始まります。

例 1：曲番 5 から演奏する場合……

<sup>5</sup>  
□ のキーを押す。

例 2：曲番 21 から演奏する場合……

<sup>+10</sup> □ → <sup>+10</sup> □ → <sup>1</sup> □ の順にキーを押す。

## ■演奏の中止

ディスクを取り出す場合……

[OPEN/CLOSE] キーを押す。

演奏が止まり、ディスク・テーブルが手前に出てきます。

一時停止する場合……

[PAUSE] キーを押す。

演奏が一時停止します。本体の [PAUSE] ボタンが点灯します。[PLAY] キーまたは [PAUSE] キーを押すと、再び演奏を始めます。

演奏を止める場合……

[STOP] キーを押す。

# プログラム演奏

1枚のディスクから好みの曲を、演奏させたい順にメモリーすると、指定した曲だけの演奏“プログラム演奏”を行うことができます。また、プログラム演奏の途中に PAUSE を入れて、プログラム演奏を自動的に一時停止させることも可能です。

## ■プログラムのセット

例：2→4→PAUSE→15→10の順に演奏を行うには

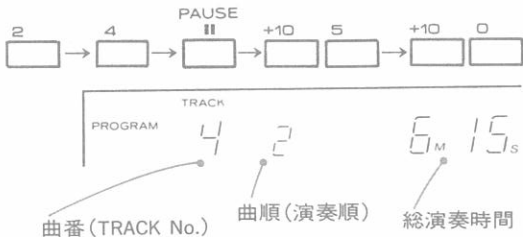
1. 停止中、〔PROGRAM〕キーを押す。



- 通常演奏中に〔PROGRAM〕キーを押すと、演奏中の曲を1曲目としてメモリーします。
- 演奏中に PAUSE を含むプログラムをセットすることはできません。



2. ダイレクト選曲キーを押す。



- メモリーは最大20曲まで可能です。
- 指定の曲をメモリーする度に、曲番・曲順および総演奏時間が表示されます。
- PAUSE を2度続けてメモリーすることはできません。
- 曲番21以降の曲をメモリーに含んでいる場合、総演奏時間は表示されません。
- PAUSE がメモリーされると、その次の曲からは、PAUSE 後の総演奏時間が表示されます。

3.〔PLAY〕キーを押す。



- 曲順1から順に演奏を行い、最後の曲を終了すると自動停止します。
- プログラムに PAUSE を含んでいる場合は、PAUSE の位置で一時停止します。演奏をつづけるときは、〔PLAY〕キーまたは〔PAUSE〕キーを押します。
- プログラム演奏が終了したとき、または〔STOP〕キーを押して演奏を止めた場合でもプログラムはメモリーされています。
- 演奏停止中に〔STOP〕キーを押すと“PROGRAM”が表示していても、メモリーされていたプログラムはクリアされます。
- 〔PROGRAM〕キー、〔DELETE〕キーおよび〔SINGLE〕キーを押すと、“PROGRAM”表示が消えプログラムはクリアされます。

## ■プログラム内容のチェック

プログラムのセット中、または演奏中に〔CHECK〕キーを押します。



〔CHECK〕キーを押すたびに、プログラムの曲番・曲順・合計演奏時間を表示します。

- 総演奏時間が100分を越えた場合は、「分」の十の位に- (100分台) / P (110分台) / A (120分台) / b (130分台) / d (140分台) / 無灯 (150分台) がそれぞれ表示されます。

例：総演奏時間が102分30秒の場合には



- 曲番21以降の曲をメモリーに含んでいる場合は、“-----”が表示されます。

## ■プログラムの修正(追加/削除)

### ■追加

プログラムにさらに曲を追加する場合は、プログラム演奏前または演奏中に、追加したい曲番を“ダイレクト選曲キー”で押します。

プログラムの途中に曲を追加する場合は、[CHECK]キーを押し追加したい曲順の前の曲順を表示させ、追加したい曲番の“ダイレクト選曲キー”を押します。

### ■削除

例：2→4→15→10とプログラムして、15を消す場合

1. [CHECK]キーを押して、表示窓に曲番15(TRACK No.)を表示させる。



2. [CLEAR]キーを押す。



“15”が削除され、次の曲が繰り上って表示されます。



3. 他にも削除したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。

## ■デリート・プログラム演奏

1枚のディスクのうち“演奏したくない曲”をあらかじめ選んでおくと、指定された曲を除いて演奏を行います。つまり、通常のプログラム演奏とは逆の操作になるわけです。

1. [DELETE]キーを押す。

- 再生中の曲をデリートすることはできません。

DELETE

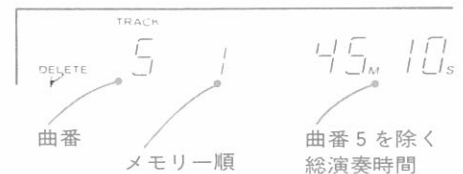


(表示窓に“DELETE”点灯)



- セットされているディスクの総演奏時間を表示します。

2. プログラム演奏と同様、ここでは削除したい曲の番号を“ダイレクト選曲キー”で押す。



さらに曲を削除する場合は、“ダイレクト選曲キー”を繰り返し押します。

以上、削除した曲の内容は、通常のプログラムの場合と同じ手順でチェックおよび修正を行うことができます。

- [CHECK]キーを押すと、デリートした曲番を小さい順に並びかえて表示します。

- 演奏する曲に曲番21以降の曲を含むときは、総演奏時間が表示されません。

3. [PLAY]キーを押すと、メモリーした曲を除いて演奏を行います。

# リピート演奏

ディスクの1曲／全曲／任意のA・B間の各リピート演奏ができます。

## ■ディスクの1曲を繰り返すには……

〈1曲リピート演奏〉

1. [SINGLE] キーを押す。

SINGLE



(表示窓に“SINGLE”点灯)

2. 希望する曲番の“ダイレクト選曲キー”を押す。

3. [REPEAT] キーを押す。

REPEAT



(表示窓に“REPEAT”点灯)

- 指定曲の演奏が自動的に始まり、1曲の演奏が終わると再び演奏を繰り返します。
- 演奏中に [REPEAT] キーを押しても同様に働きます。



- 解除するには[SINGLE]キーと[REPEAT]キーをもう1度押します。

## ■ディスクの全曲を繰り返すには……

〈オール・リピート演奏〉

1. [REPEAT] キーを押す。

REPEAT

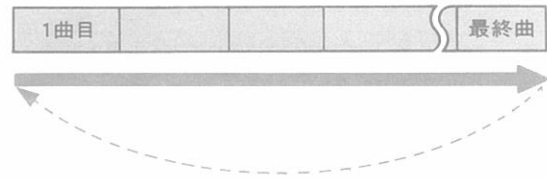


(表示窓に“REPEAT”点灯)

- 演奏を開始後に [REPEAT] キーを押しても、同様に働きます。

2. [PLAY] キーを押す。

- ディスクの1曲目から演奏が始まり、最後まで演奏を行うと、最初に戻って再び演奏を続けます。



- 解除するには [REPEAT] キーをもう1度押します。



## ■指定した区間を繰り返すには……

＜A-Bリピート演奏＞

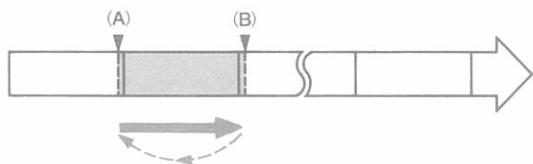
- 1.“ダイレクト選曲キー”または〔PLAY〕キーを押して演奏を始める。
- 2.繰り返したい位置(A)で、〔A-B〕キーを押す。



- 3.演奏をそのまま続けるか、〔◀SEARCH▶〕キーを押して繰り返しを終わらせたい位置(B)を見つけ再び〔A-B〕キーを押す。



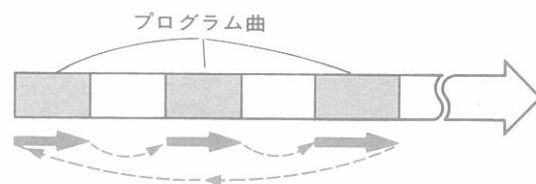
- 4.最初の(A)に戻り、A-B間の演奏を繰り返します。



- プログラム・モードおよびシングル・モードでは、曲間をまたぐA-Bリピートはできません。
- A-Bリピート・モード時に〔A-B〕キーをもう1度押すと、A-Bリピート・モードは解除されます。

## ■プログラム・リピート演奏

プログラム演奏およびデリート・プログラム演奏時に〔REPEAT〕キーを押すと、プログラム演奏が繰り返し行われます。



- 解除するには〔REPEAT〕キーをもう1度押します。

# 便利な機能とその使い方

## ■ミュージック・スキップ

[I<<<SKIP>>>]キーを押すと、押す回数によって希望する曲へスキップします。

演奏中または一時停止中に[I<<<SKIP>>>]キーを押すと、次のように働きます。

### ■前の曲に戻る

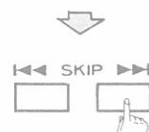
「I<<<」キーを押すと、その曲の頭に戻り、さらに押す度に前の曲、前の曲へと戻ります。



- [REPEAT] モードで1曲目を演奏中に「I<<<」キーを押すと、1曲目の頭に戻り、もう1度押すと最終曲の頭に戻り演奏を続けます。

## ■後の曲へスキップ

「>>>I」キーを押すと、その度に次の曲へ移り、曲の頭から演奏を続けます。

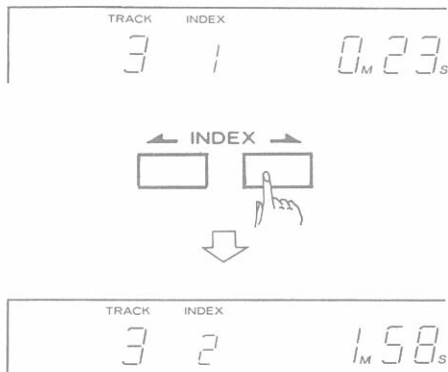


- [REPEAT] モードで最終曲を演奏中に「>>>I」キーを押すと、1曲目の頭に移り演奏を続けます。
- 一時停止中の場合は、[PLAY] キーを押すと指定した曲から演奏が始まります。
- プログラム演奏時はメモリーされている曲のみを、デリート・プログラム演奏時はメモリーされている曲を除いてスキップします。
- 停止中に[I<<<SKIP>>>]を押すと、曲番を選択することができます。

## ■ インデックス・サーチ

インデックス番号が記録されているディスクでは、希望のインデックスから演奏を始めることができます。

1. “ダイレクト選曲キー”を押してインデックス・サーチしたい曲を演奏する。
2. [◀ INDEX ▶]キーを押し、希望のインデックス番号を表示させる。



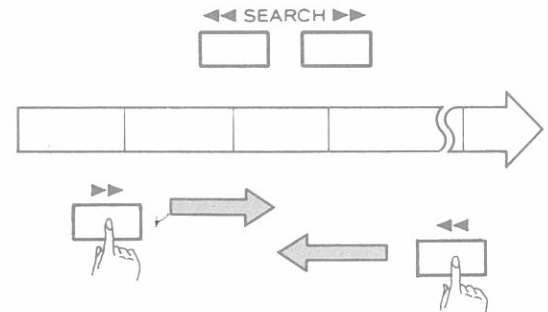
3. 指定のインデックス番号へサーチが行われ、演奏を続けます。
- 記録されているインデックス番号より上の数を選択しても、その曲の最後のインデックスから演奏します。
  - \* インデックスとは、1曲の中をいくつかに分けて、索引用の番号を付けたもののことです。インデックスが記録されているディスクには、**IN DEX** マークが付いています。

## ■ ダイレクト・インデックス・サーチ

1. 停止状態で、[◀◀ SKIP ▶▶]キーを押して曲番を選択する。
2. [◀ INDEX ▶]キーを押してインデックス番号を選択する。
3. [PLAY]キーを押す。

## ■ サーチ(早送り／早戻し)

演奏中または一時停止中に [◀◀ SEARCH ▶▶] キーを押すと、押している間早送り(「▶▶」キー)／早戻し(「◀◀」キー)になります。動作中は、再生音が小音量で聞こえますので、再生音または表示窓の時間表示を確認しながら、希望の位置を探し出せます。キーから指を離すと通常の再生に復帰します。



- 演奏中に早送りでディスクまたはプログラムの最後まで来ると、その位置で一時停止になります。また、早戻しでディスクまたはプログラムのスタート位置まで戻ると、サーチ動作をやめて演奏します。

## ■シングル・モード

1曲のみ演奏をしたいときに便利な機能です。

1. [SINGLE] キーを押す。

SINGLE



(表示窓に“SINGLE”点灯)

2. 希望の曲番を“ダイレクト選曲キー”または[◀◀ SKIP ▶▶] キーで選択する。

● “ダイレクト選曲キー”で曲番を選んだ場合は、指定した曲の演奏が始まります。

3. [PLAY] キーを押す。

● [SINGLE] キーをもう1度押すと、シングル・モードが解除されます。

## ■オート・スペース

[AUTO SPACE] キーは、演奏時の曲間を一定(約4秒)にして演奏を行います。

AUTO  
SPACE



● [AUTO SPACE] キーを押すと表示窓に“AUTO SPACE”が点灯してONとなり、もう一度押すとOFFとなります。

● [STOP] キーを押すとオート・スペースは解除になります。

## ■ディスプレイ

[DISPLAY] キーを押すと、パワー・インジケータを除く全ての表示を消すことができます。

DISPLAY

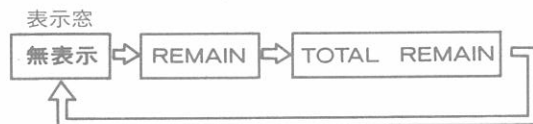


● 表示が消えているときに各キー操作をすると、一定(約4秒)の間表示ができます。

## ■タイム・カウンター

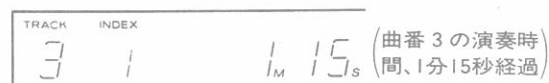
[TIME] キーを押すことによって各種タイム・カウンターとして利用することができます。

TIME



### ■通常のカウンター(無表示：経過時間)

[TIME] キーを押してカウンター上部の表示を消すと、各曲ごとの経過時間を表示するカウンターとなります。



### ■リメイン・カウンター(REMAIN：残量時間)

[TIME] キーを押してカウンター部に“REMAIN”を点灯させると、各曲ごとの残り時間を表示します。



● 曲番21以降の曲は表示しません。

### ■トータル・リメイン・カウンター

(TOTAL REMAIN：総残量時間)

[TIME] キーをさらに押すと“TOTAL REMAIN”が点灯し、演奏を終了するまでの総演奏時間を表示します。

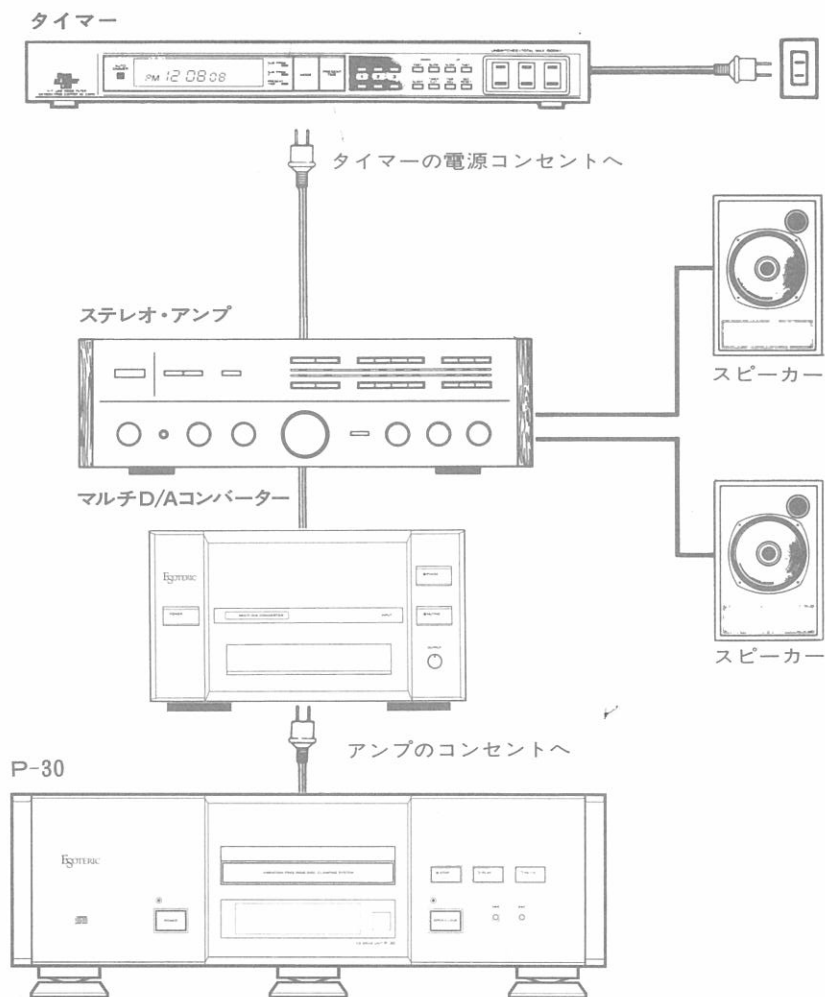


● 通常演奏の停止中に、[TIME] キーを押すと約8秒間ディスク曲数・総演奏時間が表示されます。

## タイマー演奏

さわやかな音楽で目を覚ましたい……。

別売のタイマーを組み合わせて、希望の時刻から演奏を始めることができます。



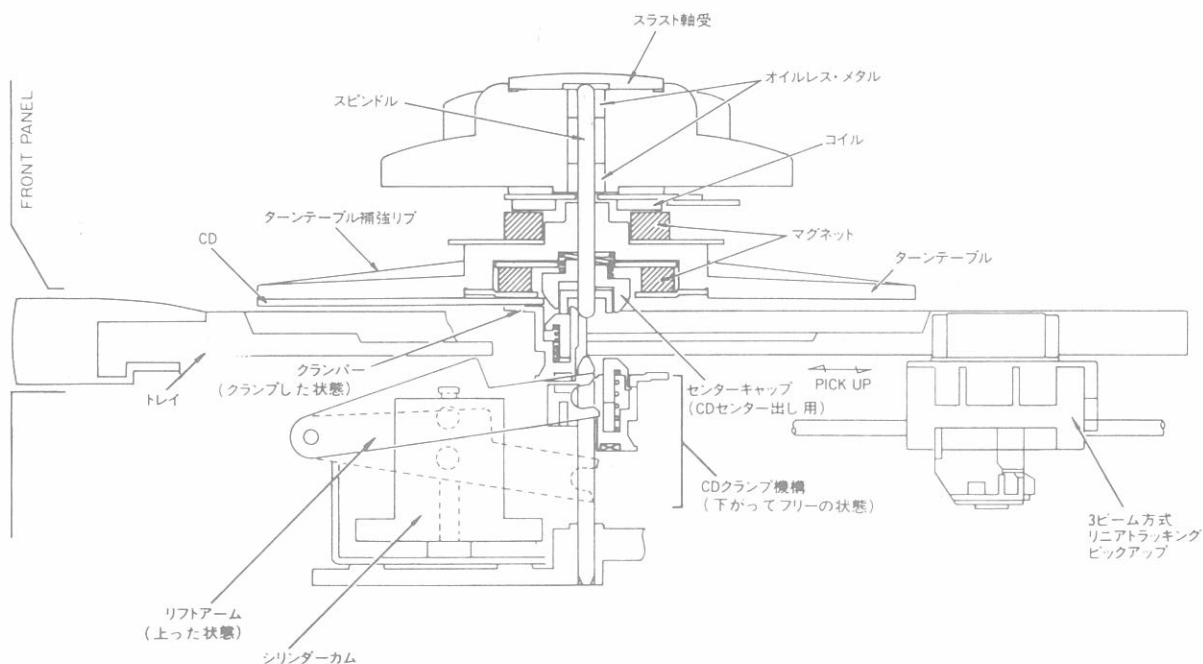
- 電源コードを図のように接続する。
  - 信号ケーブルの接続は、10ページを参照してください。
- “タイマー”を ON 状態にし、各機器の電源スイッチも ON。
  - 各機器へ電源が入ります。
- ディスクを入れる。
- ステレオ・アンプの“入力切換スイッチ”を、本機を接続した端子に合わせて切り換える。音量調整もしてください。
- “タイマー”を希望の時刻にセット。(各機器への電源が切れます)
- 指定した時刻になると、ディスクの1曲目から演奏を開始します。
  - タイマー演奏が終わったら、ディスクを取り出しておいてください。

# おや!? 故障かな?

(ちょっと待ってください。サービスをご依頼になる前にもう一度チェックしてください。  
 案外簡単な操作ミスやカン違いであることが多く、ちょっとした手入れで直ることがあります。)

症 状	原 因	処 置
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしになっている	ディスクのレーベル面を上に入れてください
	防振装置が“LOCK”になっている	“FREE”側に回転させてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
音が出ない(小さい)	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプ操作を間違えている	アンプのスイッチの位置を確認してください
電源を入れると演奏が始まってしまう	ディスクが入ったままになっている	本機はディスクを入れたまま電源を入れると自動的に演奏が始まる設計になっていますので、タイマー演奏のとき以外はディスクを取り出してから電源を切ってください
一曲しか演奏できない	[SINGLE]モードになっている	[SINGLE]モードを解除してください
プログラム演奏にならない	[PROGRAM]モードになっていない	[PROGRAM]キーを押して、表示窓に“PROGRAM”を表示させてください。
	[PLAY▶]キーを押していない	もう一度[PLAY▶]キーを押してください
音飛びがする	プレーヤーに震動やショックを与えている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ハム音が出る	ピンプラグの接続不良	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置が近すぎる	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン操作できない	本体の[POWER]スイッチが“OFF”になっている	[POWER]スイッチを“ON”にしてください
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れてください
	リモコンの電池が消耗している	電池を新しいものと交換してください

## ESOTERIC P-30 ドライブ機構略図 (大径圧着式テーパード・ターンテーブル)



### ディスクのソリを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用の V.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす。新開発の大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微少な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランプがディスク本体を圧着し、ソリや歪みを矯正。そしてターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なピットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランプ・システムです。すなわちピットをきわめて正確に読みとることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読みとりエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動等により発生するノイズを極少

と、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。P-30ではディスク・ドライブ・モーターを特殊高分子成形シャーシ上部に固定。ピックアップ部と完全に分離させることでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらにターンテーブル駆動部に高剛性アルミダイキャストを使用。耐久性、回転安定性ともに高い信頼性の新開発ブラシレス・ホール・モーターと相まって、振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

### ■保証書

- この製品には“御愛用者カード”を別途添付しております。
- カードは「お買上げ日・販売店名」などの記載事項をお確かめの上、販売店からお受け取りいただきなるべく早めにご返送ください。また、保証内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年です。

### ■補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店または最寄りの当社サービスセンター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

### ■修理を依頼されるときは

22ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止して必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店、または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

#### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

#### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

品名	CDドライブ・ユニット
型名	P-30
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	

### 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買上げ店名
	☎ ( )



# 仕様

## <ピックアップ>

方式	対物レンズ駆動、光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm

<ピックアップ駆動方式> リニアモーター駆動

## <デジタル出力フォーマット>

標準化周波数	48kHz
周波数精度	±50PPM(表示:±1,000PPM)
量子化ビット数	24ビットリニア/チャンネル
伝送レート	3,072Mb/sec
変調方式	バイフェーズ・マーク変調

## <デジタル出力特性>

0.5Vp-p/75Ω(RCA)	
4.5Vp-p/110Ω(XLR)	
-12.5~-16dBm/875nm(OPTICAL ST)	
ジッター除去比	40dB
ジッター・フィルター・カットオフ周波数	3Hz
ジッター・フィルター次数	1次

## <ディスク>

方式	コンパクトディスク
演奏時間	約60分/約20分
ディスク直径	120mm/80mm
ディスク厚	1.2mm
線速度	1.2~1.4m/sec
トラックピッチ	1.6μm

## <一般>

電源	100V AC50-60Hz
消費電力	12W
外形寸法(W×H×D)	465×157×390mm
重量	14.5kg

## <リモコン RC-567>

リモコン方式	赤外線パルス方式
電池	DC3V 乾電池(SUM-3、単3)×2
外形寸法(W×H×D)	60×150×18mm
重量	110g(電池含む)

## <付属品>

- ワイヤレスリモコン RC-567
- 乾電池(単3、SUM-3)×2
- ロックプレート
- フット×3
- フットベース×3
- 電源コード
- 同軸コード(バン・デン・ハル社 デジタル・コード VDH-T208)
- 取扱説明書(バインダー含む)

\*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

\*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

寸法図

